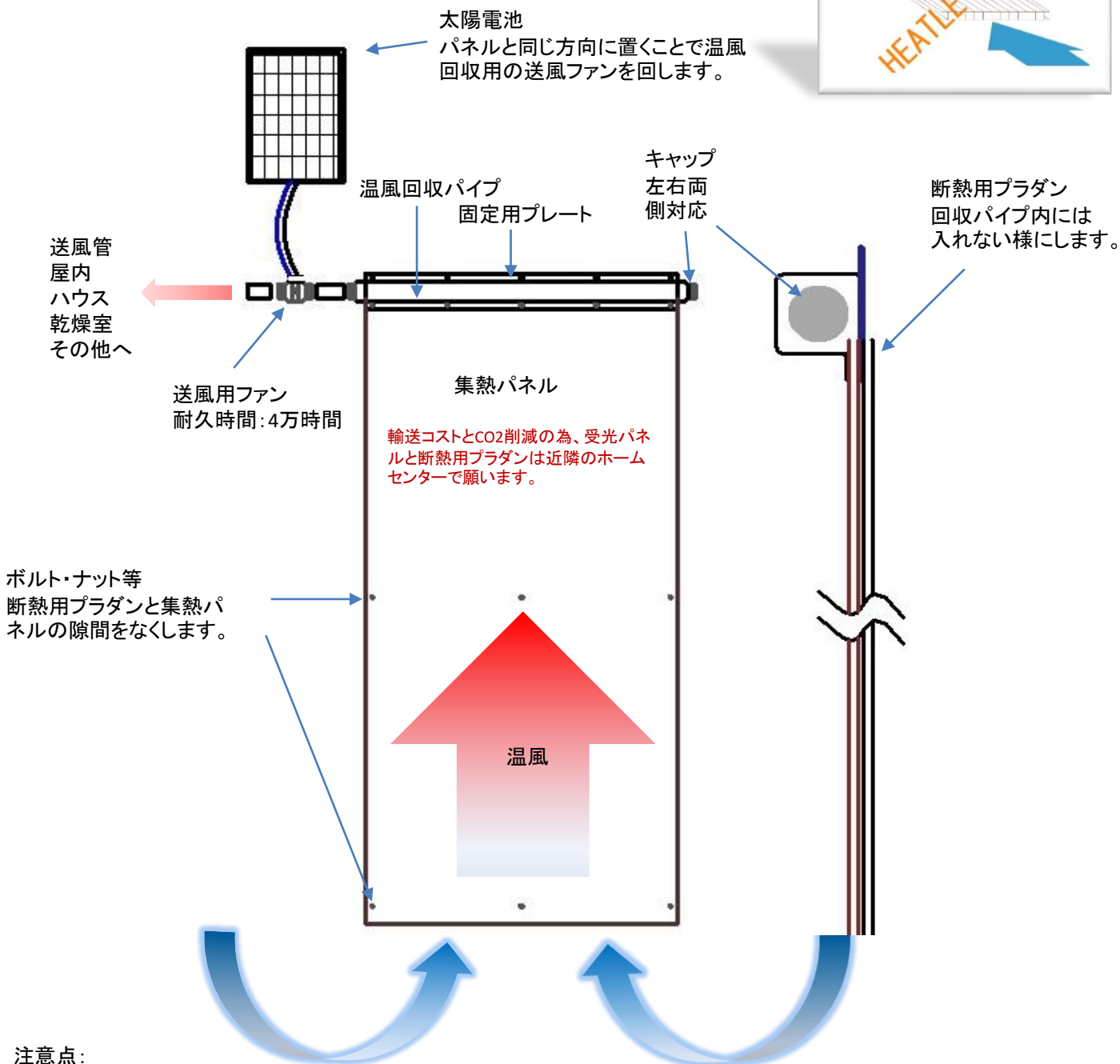
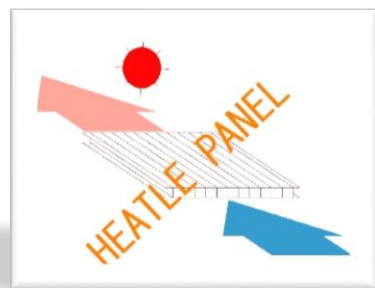


ヒートル・エア（HEATLE AIR）の構造と各部の名称

外気温プラス25～30℃の空気を毎時2～3m³回収



注意点：

① 連結パイプについて：

外径60mmの丸型縦トイを使っていますがメーカーにより微妙なサイズ差があります。
セキスイ、三菱化学製品のご利用を推奨します。

② 集熱パネルについて：

品名：ツインカーボ、販売元：アクリサンデー（株）、色：ブラウン、サイズ：1820x910x4.5mm、両面UVカットのご利用下さい。

③ 断熱用プラダンについて：

プラダン（ポリエチレン製）の上端を集熱パイプに入れない様にして下さい。加熱により臭いが発生します。

④ 太陽電池について：

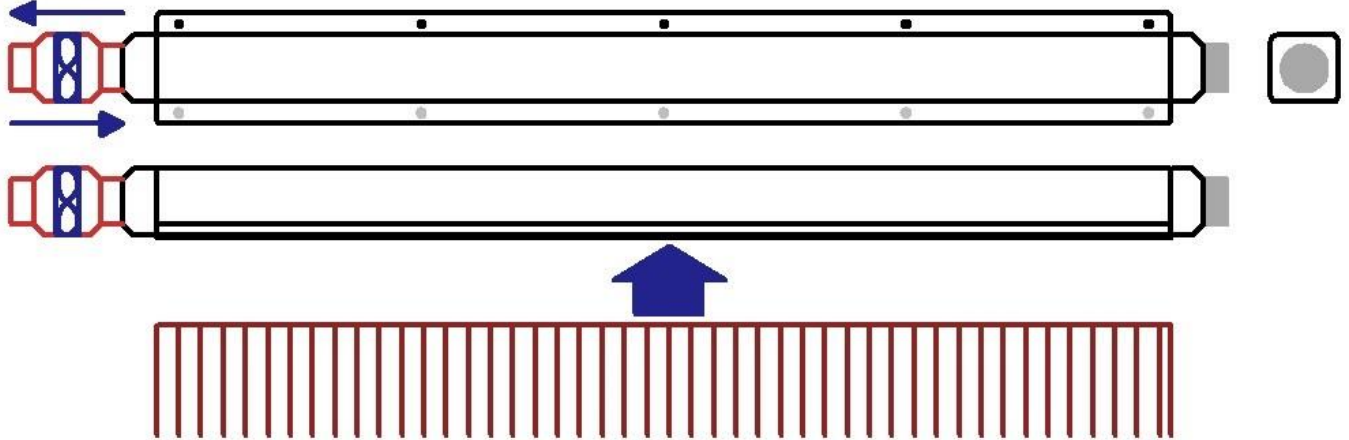
太陽電池は集熱パネルと同じ方向ですが、全面に日射が当たる様な場所に設置して下さい。
一部でも陰（樹木、電線、電柱等）になると発電量が大幅に下がり、送風用ファンが停止する場合があります。
送風用ファン上部のジョイントボックスから出るリード線と太陽電池を連結して下さい。

送風用ファン

太陽電池利用で電気代ゼロです。
夏は付け替えて排熱に使えます。

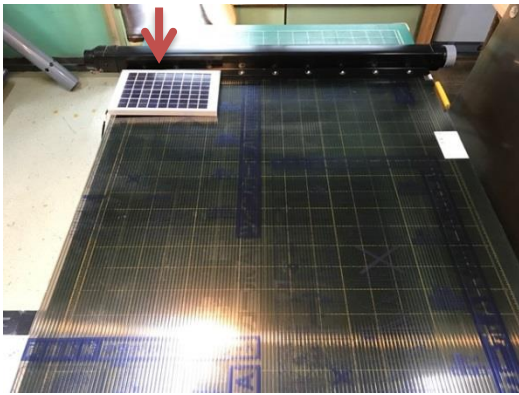
集熱パイプ

設置し易いよう固定用プレート付です。

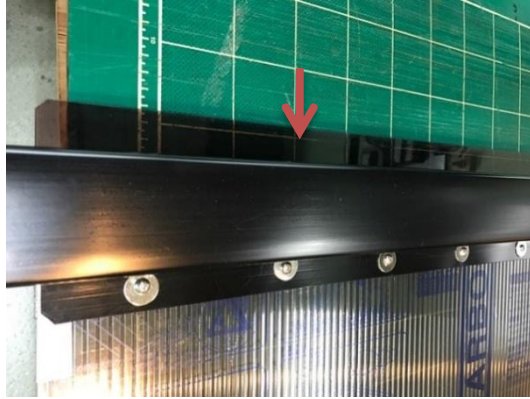


集熱部 中空ポリカ4.5mm厚を想定しています。
※タン、農業用ビニール等をうまく設置しての熱回収も考えられます。

太陽電池を一体化した写真

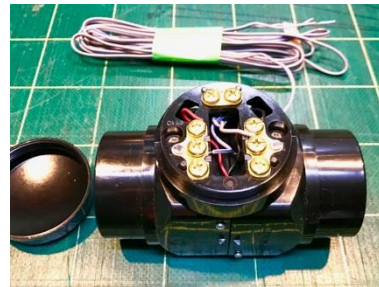


集熱パイプ、上部は固定用プレート部



送風用ファンの上部に防水ジョイントがあり、ここから
リード線(3m)が出ています。太陽電池はこのリード線に
接続して下さい。

ジョイントを上にし、キャップを締めてご利用下さい。

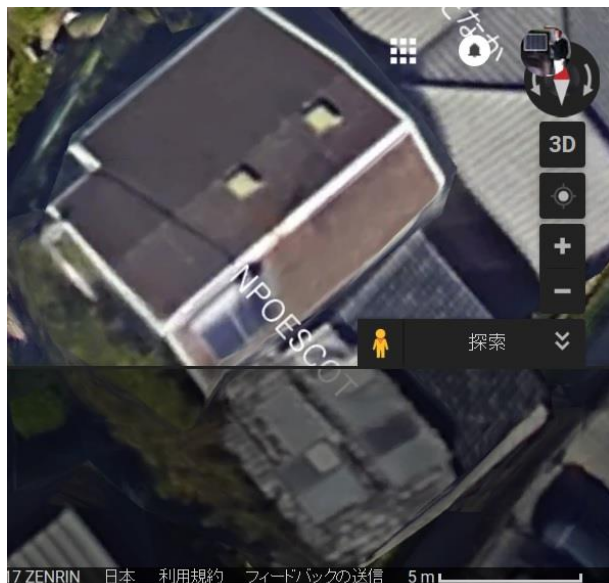
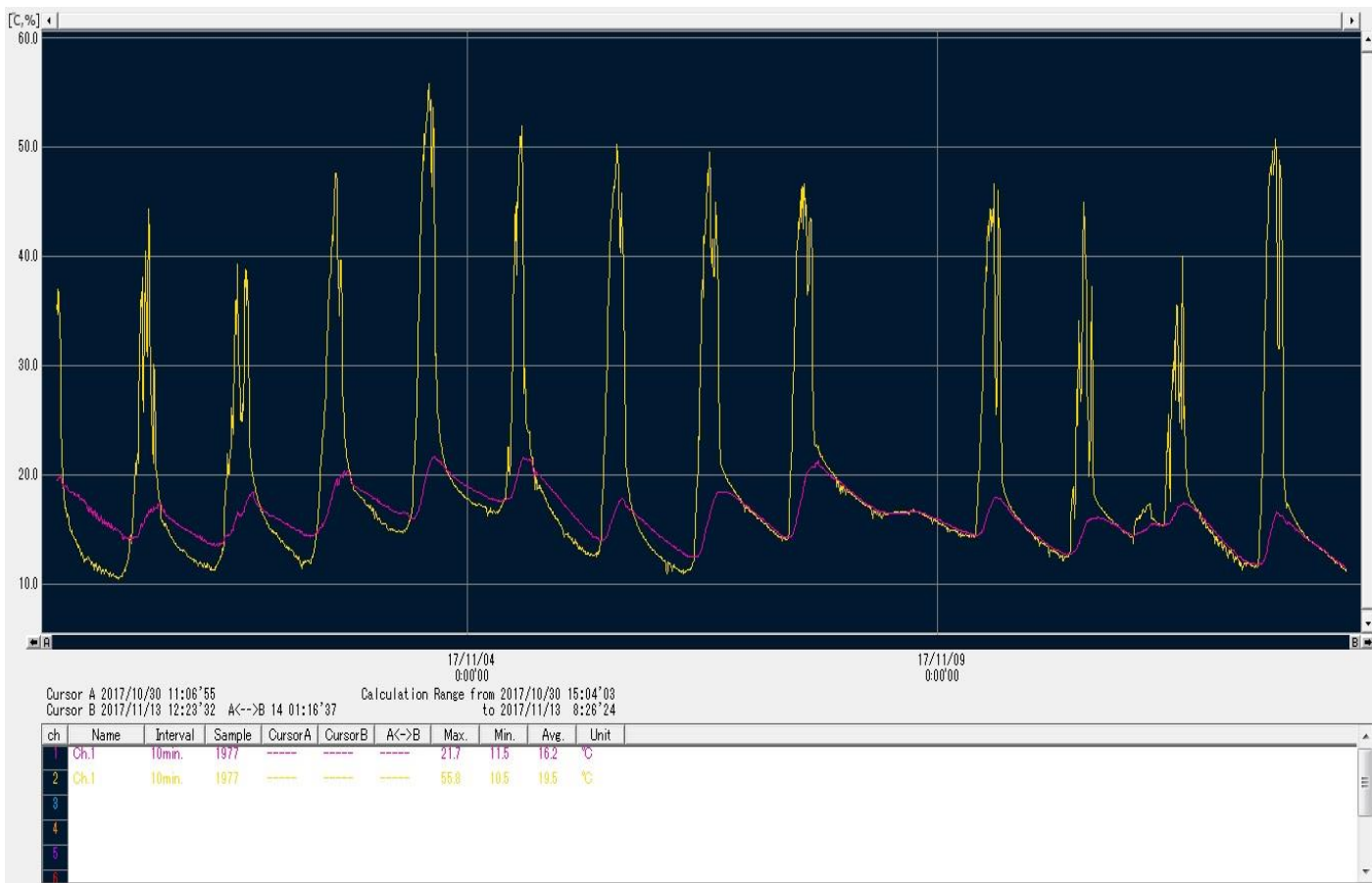


貫通状況:90° エルボー
で屋内に温風を導きます。
紫外線対策と壁との隙間
をなくす為、縦トイ用のエルボー
を使います。

室内側、60° エルボーで温風を床
の煉瓦に当てて蓄熱します。



集熱グラフ:外気温プラス25~30°Cの温風を毎時2~3m3回収



10月30日~11月13日までの2週間の集熱グラフです。

試験場所:NPO ESCOT
千葉県柏市東上町4-17

設置方法:壁面へのネジ止めによる設置

パネル枚数:1枚、1.6m²

接地角度:方位 南西
対地角度90度

受光可能時間:約4時間(周辺建造物による遮光の為)

ファン駆動電源:12W太陽電池直結